

平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ティーツー
 コード番号 7610 URL <http://www.tay2.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 勝宏
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 塚本 陽二
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5719-4775

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	20,826	△6.9	△330	—	△324	—	△258	—
26年2月期第3四半期	22,374	—	160	—	157	—	28	—

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 △256百万円 (—%) 26年2月期第3四半期 31百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	△5.11	—
26年2月期第3四半期	0.56	0.56

(注) 平成25年2月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成26年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 (注) 当社は平成25年9月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
 (注) 平成27年2月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第3四半期	10,702	4,739	44.3	93.62
26年2月期	11,159	5,061	45.3	99.98

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 4,737百万円 26年2月期 5,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.80	—	0.80	1.60
27年2月期	—	0.50	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	0.50	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成25年9月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。そのため、平成26年2月期第2四半期末及び平成26年2月期合計の配当金額は株式分割を考慮した額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない第2四半期末配当は80円、期末配当は80円、合計は160円となります。

3. 平成27年 2月期の連結業績予想(平成26年 3月 1日～平成27年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,800	△1.9	210	△16.3	210	△9.5	50	—	0.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期3Q	52,640,000 株	26年2月期	52,640,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年2月期3Q	2,038,500 株	26年2月期	2,038,500 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期3Q	50,601,500 株	26年2月期3Q	51,057,551 株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 当社は平成25年9月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記の業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、平成26年4月の消費増税前の駆け込み需要の反動や一部の物価上昇が影響し、平成26年4月以降、家計調査報告（総務省発表）の家計支出が8か月連続でマイナスになるなど、国内消費が大きく冷え込んでおります。

また、当社グループが展開する「マルチパッケージ販売事業」が属する業界におきましては、スマートフォンの拡大に伴う市場の変化により、主要商材である家庭用ゲーム・CD・DVDが著しいダウントレンドにあり、ビッグタイトルの発売等一時的な特需はあるものの、厳しい市場環境が続いております。

このような経営環境の下、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は208億2千6百万円（前年同期比△6.9%）、連結営業損失は3億3千万円（前年同期は連結営業利益1億6千万円）、連結経常損失は3億2千4百万円（前年同期は連結経常利益1億5千7百万円）、連結四半期純損失は2億5千8百万円（前年同期は連結四半期純利益2千8百万円）となりました。

(事業の概況)

当社グループが主力とするマルチパッケージ販売事業におきましては、期初に掲げた4つの注力点に基づいて各種施策を実行・推進し、将来への成長に向けての布石を打ってまいりました。

- ① 利益率が高く価格コントロールが可能な中古商材の拡大
 - ・特に、収益の基盤である古本の拡販へ
- ② 市場が安定しているトレーディングカードへの継続投資・出店
 - ・成長の基盤として、トレカ業界No. 1の地位獲得へ
- ③ スクラップ&ビルドと新規商材専門店の出店や新規エリアへの進出
 - ・成長の基盤構築のため、商材の拡大及び出店エリアの拡大へ
- ④ 独自商材の導入によるEC販売の拡大

その他事業につきましては、国際ブランド付きプリペイドカード「TAY-TWO CARD」におきまして、平成26年4月22日にカードの発行を、平成26年8月11日に「買取チャージ」サービスを、平成26年10月1日に「ポイントエクステンション」サービスを開始し、平成26年12月1日からは当社グループ店舗だけでなくVisa加盟店であればどこでもポイントが貯まる「ポイントバック」サービスを開始するなど、当初想定しておりました機能の装備をほぼ完了させております。

(当第3四半期の実施内容と成果)

既存商材の運用改善、「トレカパーク」の継続的展開（出店及び既存店への導入）や、組織改革等を実施した結果、前述の注力点につきましては、以下のような状況にあります。

- ① 利益率が高く価格コントロールが可能な中古商材の拡大
 - ・当第3四半期連結累計期間では、古本の売上が前年同期比△0.8%、新品ゲームの影響を受ける中古ゲームの売上が前年同期比△7.9%となり、中古品売上計は前年同期比△4.9%となりました。
 - ・今後も、利益率が高く新品市場の影響を受けにくい古本に、より一層注力してまいります。
- ② 市場が安定しているトレーディングカードへの継続投資・出店
 - ・第1四半期に新店1店・既存店導入26店、第2四半期に新店4店・既存店導入4店の展開をしております。また、多店舗展開の上でネックとなるオペレーションの煩雑さを解消する手段として、全店に「トレカ自動読取査定機」を導入しました。あわせて、トレカパーク専用のホームページを開発しております。
 - ・平成26年11月13日に、提携会社との共同出資により「株式会社スペースチャンス」を設立し、「トレカパーク」のFC展開の体制構築に着手しました。
 - ・その結果、当第3四半期連結累計期間では前年同期に比べ、新品においては45.6%増、中古においては66.2%増と売上を大きく伸ばしました。
- ③ スクラップ&ビルドと新規商材専門店の出店や新規エリアへの進出
 - ・当社100%子会社株式会社モ・ジールを設立し、新たに中古衣料・服飾雑貨等の売買を開始しました。1号店は、当社運営のTSUTAYAと併設の「MO-ZEAL湘南台店」として平成26年10月25日オープンしました。
 - ・商材の入替による既存店活性化の一環として、既存店「古本市場 川口伊刈店」を改装し、「古本市場 コレクターズ川口伊刈店」を平成26年12月6日にリニューアルオープンしました。これにより、新たな商材としてフィギュア・ホビー商品の導入を果たしました。
 - ・これらの新規商材につきましては、専門店出店や既存店、当社ECサイトへの導入という形での拡大を計画しております。

④ 独自商材の導入によるEC販売の拡大

- ・新規商材であるオリジナルスマートフォンケースの導入及び拡大に取り組んでいるものの、現行は既存商材の割合が大きく、当第3四半期連結累計期間売上は前年同期比△11.2%となっております。

当期は、主力事業のノウハウを生かしながら再び成長への舵を切るべく、営業基盤の再構築に注力しておりますが、当第3四半期連結累計期間において家庭用ゲームの売上・粗利が低調に推移しており、全体の業績を補う結果を確保するに至っておりません。

その結果、当第3四半期連結累計期間のマルチパッケージ販売事業の売上高は、平成25年12月以降に出店した新店による増加が2億3千万円あったものの、既存店売上△14億1千3百万円（前年同期比△7.0%）及び閉店等の減収総額が△3億5千万円あったことから、差引△15億6千1百万円（前年同期比△7.0%）の減収となりました。第4四半期におきましては、当社にとって最大の需要期である年末年始商戦を最大限に生かすべく、鋭意努力しております。

（ご参考）当社グループ店舗数の推移

	2014年2月期	2015年2月期第3四半期			増減数
	期末	出店	退店	期末	
古本市場直営店	96(1)	—	2	94(1)	△2
古本市場業務提携・FC店	6	—	—	6	—
トレカパーク	2	5	—	7	5
ブック・スクウェア	4(1)	—	—	4(1)	—
3Bee	3(3)	—	1	2(2)	△1
MO-ZEAL	—	1	—	1(1)	1
TSUTAYA（単独店）	2	—	—	2	—
Family Mart	2	—	—	2	—
合計	115(5)	6	3	118(5)	3

※カッコ内の数値は、TSUTAYA併設店となります。

※上表とは別に、当社既存店に「トレカパーク」コーナーを導入しており、当期の既存店導入は30店、累計で92店となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は107億2百万円となり、前連結会計年度末と比べて4億5千7百万円減少いたしました。これは主に現預金の減少によるものです。負債合計は59億6千2百万円となり、前連結会計年度末と比べて1億3千5百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少によるものです。純資産は47億3千9百万円となり、前連結会計年度末と比べて3億2千1百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失を2億5千8百万円計上し、配当金の支払を6千5万円行ったことにより、利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結売上高は208億2千6百万円（前年同期比△6.9%）、連結営業損失は3億3千万円（前年同期は連結営業利益1億6千万円）、連結経常損失は3億2千4百万円（前年同期は連結経常利益1億5千7百万円）、連結四半期純損失は2億5千8百万円（前年同期は連結四半期純利益2千8百万円）と推移しておりますが、当社グループにとって最大の繁忙期である12月及び1月の販売動向を十分に見極める必要があるため、平成26年10月15日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期連結業績予想数値より変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,725,540	1,481,472
売掛金	360,317	332,816
商品	3,815,131	4,302,913
貯蔵品	24,795	21,685
その他	469,674	628,588
流動資産合計	7,395,459	6,767,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	624,179	600,537
その他(純額)	487,432	492,025
有形固定資産合計	1,111,612	1,092,563
無形固定資産	118,248	236,620
投資その他の資産		
差入保証金	1,252,596	1,286,026
その他	1,281,370	1,319,535
投資その他の資産合計	2,533,966	2,605,562
固定資産合計	3,763,827	3,934,746
資産合計	11,159,287	10,702,223
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,094,303	1,515,275
1年内返済予定の長期借入金	1,741,385	1,761,113
未払法人税等	463	554
賞与引当金	58,417	-
ポイント引当金	207,545	194,712
資産除去債務	1,756	-
その他	522,577	545,220
流動負債合計	3,626,449	4,016,875
固定負債		
長期借入金	1,526,338	1,038,518
退職給付引当金	349,637	374,950
資産除去債務	434,152	454,258
その他	161,260	78,076
固定負債合計	2,471,388	1,945,803
負債合計	6,097,837	5,962,679

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,507	1,165,507
資本剰余金	1,119,796	1,119,796
利益剰余金	2,914,372	2,590,066
自己株式	△141,897	△141,897
株主資本合計	5,057,778	4,733,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,458	3,882
その他の包括利益累計額合計	1,458	3,882
新株予約権	2,213	2,188
純資産合計	5,061,450	4,739,544
負債純資産合計	11,159,287	10,702,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	22,374,040	20,826,269
売上原価	16,170,342	15,004,320
売上総利益	6,203,697	5,821,948
販売費及び一般管理費	6,043,282	6,152,218
営業利益又は営業損失(△)	160,415	△330,269
営業外収益		
受取利息	2,687	2,845
受取賃貸料	53,460	53,457
持分法による投資利益	5,255	528
その他	23,831	21,016
営業外収益合計	85,233	77,848
営業外費用		
支払利息	33,381	28,220
不動産賃貸費用	42,999	43,102
その他	11,850	812
営業外費用合計	88,231	72,135
経常利益又は経常損失(△)	157,418	△324,556
特別利益		
新株予約権戻入益	4	24
特別利益合計	4	24
特別損失		
固定資産除却損	2,688	2,908
減損損失	225	-
店舗閉鎖損失	1,814	5,875
関係会社事業整理損失	10,440	-
その他	882	-
特別損失合計	16,050	8,783
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	141,371	△333,315
法人税等	112,652	△74,791
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	28,719	△258,524
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,719	△258,524

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	28,719	△258,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,046	2,424
その他の包括利益合計	3,046	2,424
四半期包括利益	31,765	△256,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,765	△256,099
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

当社グループの事業セグメントにおいては、マルチパッケージ販売事業の比率が極めて高く、その他の事業セグメントは金額的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

当社グループの事業セグメントにおいては、マルチパッケージ販売事業の比率が極めて高く、その他の事業セグメントは金額的重要性が乏しいため、記載を省略しております。